

「障害者」

ほんとは今も
みんな(自分)
のこと

今は「福島」のこと

自身

いつかはあなたの街のことに

—「安楽の全体主義」に抗う—

東北大震災から4年。私たちの社会は、傷つきたいのちを受け止め、癒し、育む「やわらかさ」の圧倒的な欠乏を突きつけた。「福島原発事故の被災者」である木田節子さんと、「健全者社会の告発者」である古井正代さんが出会った。二人の見てきた社会の質から、斉藤日出治さんの言う「安楽の全体主義」が浮き上がる。誰もがそれを作り出し、自ら「被災者」になるような、この社会の質は何なのか。私たちのあり様を知り、私たち自身を深め、これから私たちがどのような生き方を紡いでいくのか、ともに考えませんか？

2015年3月29日(日)

開場13時

13時半~16時半 マイドームおおさか第3会議室

木田節子さん 古井正代さん 斉藤日出治さん

トークと対談 全体での話し合い

参加費 1000円(事情により無料)

主催 連絡先 090・5040・6343 (松尾)

「いつかはあなたの」実行委員会

木田節子(きだせつこ)さん

プロフィール

1954年、岩手県釜石市生まれ。福島原発立地富岡町からの避難者。被爆労働者の母。1992年に双葉郡富岡町に家を見て、バスガイド等を仕事として家族4人で19年間暮らす。2011年の福島原発事故で自宅が警戒区域に指定されたため、茨城県水戸市で避難生活中。家と故郷を失ったショックで引き籠りに。2012年2月、茨城県東海村村長の村上達也氏の講演会で「福島県の人々の現状を思うと、この国は原発を持つ資格はない」という言葉を聞き、原発反対運動に加わる。首相官邸前や経産省前でも福島の実状を訴え、2013年には緑の党から参議員選に立候補し、東京の街頭で福島の実状を伝えた。身を通して、実際に起きた様々な事実を率直に話し、問題提起できる場で発言を続けている。

古井正代(ふるいまさよ)さん

1952年姫路市生まれ。大阪市在住。日本脳性麻痺者協会大阪青い芝の会等結成、川崎バス闘争など、障害者解放運動等を通じ、優生思想の問題性を社会に訴え続け、現在脳性まひ者の生活と健康を考える会主幹。福島原発事故後は4月から福島へ行き、被災地障害者支援センターにて支援活動。福島で起きていることを知り、経産省前、大阪関電本社前などの原発再稼働抗議行動に参加し続けている。母体血検査が合法化されてより、原発と優生思想の関係等、鋭く深い視点からの発言を続ける。地中海小児神経学会、環太平洋障害学学会等で震災後の福島の実状を世界へ伝えた。

斉藤日出治(さいとうひではる)さん

1945年生まれ、奈良市在住。
元・大阪産業大学経済学部教員
現代資本主義論、現代社会論専攻
日本の戦争責任・植民地責任を問う社会運動に従事(紀州鉾山の真実を明らかにする会、海南島近現代史研究会、)会員)

会場アクセス

〒540-0029 大阪市中央区本町橋2番5号

- 地下鉄堺筋線・中央線の「堺筋本町」駅の12番出口から徒歩6分
- 地下鉄谷町線「谷町四丁目」駅の4番出口から 徒歩7分
- 地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅の4番出口から 徒歩15分
- 地下鉄堺筋線・京阪電鉄「北浜」駅の5番出口から 徒歩10分
- 地下鉄御堂筋線・中央線・四つ橋線「本町」駅の3番出口から 徒歩15分
- 「谷町四丁目駅」1A出口(エレベーターあり)を出て左折(南へ)、「谷3」の交差点を右(ファミリーマート方向)に渡り、本町通沿いに進む。「内本町2」交差点を渡り、右折し直進すると、左側に大阪商工会議所があり、その隣の建物がマイドームおおさかです。(1A出口は改札を出て、まっすぐに約75メートル直進し、左側にあるエレベーターをつかって地上に出ます。(エレベーターまでは点字ブロックがあります)
- 「堺筋本町駅」15番出口(北西改札口エレベーターあり)を出て、右前方の横断歩道を渡り、本町通沿い(東へ)に進む。右側に東警察署があり、橋を越え、次にある信号を渡り、左折するとシティプラザ大阪があり、その建物内からマイドームおおさかへ通り抜けができます。

